

【表紙】

【提出書類】 訂正有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融証券取引法第24条の2 第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月26日

【事業年度】 第20期（自 平成23年5月1日 至 平成24年4月30日）

【会社名】 株式会社テンポスバスターズ

【英訳名】 TENPOS BUSTERS Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平野 忍

【本店の所在の場所】 東京都大田区東蒲田二丁目30番17号

【電話番号】 03（3736）0319

【事務連絡者氏名】 管理部長 中村 純一郎

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区東蒲田二丁目30番17号

【電話番号】 03（3736）0319

【事務連絡者氏名】 管理部長 中村 純一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
( 東京都中央区日本橋兜町2番1号 )

1 【訂正有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年7月24日に提出いたしました第20期（自 平成23年5月1日 至 平成24年4月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部企業情報

第5 経理の状況

2 . 財務諸表等

(1) 財務諸表

貸借対照表

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

(訂正前)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 4月30日)	当事業年度 (平成24年 4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	408	951
売掛金	175	1102
商品及び製品	1,187	1,223
仕掛品	42	54
原材料及び貯蔵品	0	0
前払費用	12	12
短期貸付金	3	10
関係会社短期貸付金	20	19
繰延税金資産	91	89
その他	30	32
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	1,868	2,491
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	219	220
車両運搬具（純額）	20	20
工具、器具及び備品（純額）	22	22
有形固定資産合計	22	22
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2	1
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	4	4
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	219	169
関係会社出資金	0	-
関係会社株式	870	950
長期貸付金	185	125
株主、役員又は従業員に対する長期貸付金	128	93
関係会社長期貸付金	46	26
敷金及び保証金	191	190
繰延税金資産	100	122
その他	0	0
貸倒引当金	128	129
投資その他の資産合計	1,615	1,548
固定資産合計	1,642	1,575
資産合計	3,511	4,067

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当事業年度 (平成24年4月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形		4
買掛金	1,435	1,471
未払金	72	108
未払費用	62	67
未払配当金	0	0
短期借入金	129	36
1年内返済予定の長期借入金	101	39
未払法人税等	17	305
未払消費税等	47	33
前受金	21	34
預り金	33	33
賞与引当金	128	128
製品保証引当金	7	8
その他	0	1
<b>流動負債合計</b>	<b>1,059</b>	<b>1,275</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	98	21
長期預り保証金	8	8
<b>固定負債合計</b>	<b>107</b>	<b>30</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,166</b>	<b>1,306</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	509	509
資本剰余金		
資本準備金	472	472
<b>資本剰余金合計</b>	<b>472</b>	<b>472</b>
利益剰余金		
利益準備金	2	2
その他利益剰余金		
別途積立金	1,000	1,000
繰越利益剰余金	1,083	1,500
<b>利益剰余金合計</b>	<b>2,086</b>	<b>2,502</b>
自己株式	722	722
<b>株主資本合計</b>	<b>2,345</b>	<b>2,761</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,345</b>	<b>2,761</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,511</b>	<b>4,067</b>

(訂正後)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年 4月30日)	当事業年度 (平成24年 4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	408	951
売掛金	175	1102
商品及び製品	1,187	1,223
仕掛品	42	54
原材料及び貯蔵品	0	0
前払費用	12	12
短期貸付金	3	10
関係会社短期貸付金	20	19
繰延税金資産	91	89
その他	30	32
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	1,868	2,491
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	219	220
車両運搬具（純額）	20	20
工具、器具及び備品（純額）	22	22
有形固定資産合計	22	22
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	2	1
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	4	4
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	219	169
関係会社出資金	0	-
関係会社株式	870	950
長期貸付金	128	125
株主、役員又は従業員に対する長期貸付金	185	93
関係会社長期貸付金	46	26
敷金及び保証金	191	190
繰延税金資産	100	122
その他	0	0
貸倒引当金	128	129
投資その他の資産合計	1,615	1,548
固定資産合計	1,642	1,575
資産合計	3,511	4,067

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当事業年度 (平成24年4月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形		4
買掛金	1,435	1,471
未払金	72	108
未払費用	62	67
未払配当金	0	0
短期借入金	129	36
1年内返済予定の長期借入金	101	39
未払法人税等	17	305
未払消費税等	47	33
前受金	21	34
預り金	33	33
賞与引当金	128	128
製品保証引当金	7	8
その他	0	1
<b>流動負債合計</b>	<b>1,059</b>	<b>1,275</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	98	21
長期預り保証金	8	8
<b>固定負債合計</b>	<b>107</b>	<b>30</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,166</b>	<b>1,306</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	509	509
資本剰余金		
資本準備金	472	472
<b>資本剰余金合計</b>	<b>472</b>	<b>472</b>
利益剰余金		
利益準備金	2	2
その他利益剰余金		
別途積立金	1,000	1,000
繰越利益剰余金	1,083	1,500
<b>利益剰余金合計</b>	<b>2,086</b>	<b>2,502</b>
自己株式	722	722
<b>株主資本合計</b>	<b>2,345</b>	<b>2,761</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,345</b>	<b>2,761</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,511</b>	<b>4,067</b>

## 独立監査人の監査報告書

平成25年8月23日

株式会社テンポスバスターズ  
取締役会 御中

大有ゼネラル監査法人

代表社員	公認会計士	鯉淵 信行
業務執行社員		
代表社員	公認会計士	岩村 浩秀
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社テンポスバスターズの平成23年5月1日から平成24年4月30日までの第20期事業年度の訂正後の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社テンポスバスターズの平成24年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### その他の事項

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、財務諸表を訂正している。なお当監査法人は、訂正前の財務諸表に対して平成25年7月23日に監査報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が財務諸表に添付するかたちで別途保管しております。